

平成29年度 安心まちづくり室  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命  防災・危機管理機能の充実や市民が誰でも安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	1. 防災広場の整備	・大規模災害発生時に災害復興拠点として活用するための防災広場を整備する。	・学研都市京都土地開発公社が代位弁済する用地購入資金を活用した買収により取得する。	・学研都市京都土地開発公社と契約を締結したが、地権者による境界確定遅れのため契約に至らず。	C	・平成30年度に再度学研都市京都土地開発公社と契約し用地購入を行う。その後、設計、造成及び建設工事等を行い、平成35年度末の供用開始を目指す。
	2. 避難所運営訓練の実施	・有事の際、迅速な避難行動、適切な避難所運営が行えるよう訓練を行う。	・有事の際、迅速に適切な避難所(田辺高等学校・草内小学校)運営が行えるよう対象区・自治会と訓練を行う。	・8月20日に訓練を実施した。 ・参加者453名(田辺高校:234名、草内小学校:219名)	A	
	3. 避難所運営個別地区マニュアルの策定	・地域の特性や実情に応じた個別マニュアルを、指定避難所単位で市民協働により策定する。	・避難所運営マニュアルに基づき、指定避難所(大住中学校)の個別マニュアルを大住ヶ丘連合自治会及び花住坂自治会の市民と協働して策定する。	・関係自治会等と協議を行い、マニュアルを3月に策定し、全戸配布した。	A	
	4. 地域版防災マップ(土砂災害・水害)の作成	・市民協働による地域版防災マップを作成する。	・地域版防災マップ 土砂災害編を普賢寺区で、水害編を東林区と岡村区で市民と協働して作成する。	・水害編は地元区と協議を行い、マップを作成し全戸配布した。土砂災害編は京都府管理河川の浸水想定区域の見直しが遅れているため、繰越を行った。	B	・京都府の浸水想定区域が公表され次第、地元区と改めて協議を行い、地域版防災マップを作成する。

平成29年度 安心まちづくり室  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命  今年度取り組む事項	5. 洪水ハザードマップの改定	・国による浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップの改定を行うことにより、注意喚起を行う。	・国及び府の改訂データを元に洪水ハザードマップを作成し全戸配布する。	・国から浸水想定区域見直しデータを受け取ったが、京都府管理河川の浸水想定区域の見直しが遅れているため、繰越を行った。	C	・京都府の浸水想定区域が公表され次第、洪水ハザードマップを作成し、全戸配布する。
	6. 防犯カメラの設置	・防犯対策を強化するため防犯カメラを設置する。	・JR大住駅前に防犯カメラを設置する。	・設置後、8月1日から運用を開始した。	A	